

賃金差別の底に 見えない家制度!?

「死なないように生きないように」の克服



男女間の格差を示す世界のジェンダーギャップ報告書が今年も発表されましたが、日本は145カ国中117位と変わらず低迷しています。先進7カ国中、最下位と低迷する要因の1つは、経済分野、とくに労働における男女間の賃金格差が大きいことがあげられます。根深い性別役割分担意識が女性の働き方や、賃金に大きな影響を与えていることは間違いありません。女性の経済的自立には、男女平等な賃金が必須です。先進国は家事・育児・介護に縛られる女性たちが働きやすい環境を整え、賃金格差の改善に努めてきました。

誰もが安心して生活できる社会をつくるためこの講演を私たちの考えや行動に活かしていきましょう。

<プロフィール>朝日新聞社に入社。同社編集委員兼論説委員、和光大学教授などを経て現職。「官製ワーキングプア研究会」理事、「暮らしと働き方研究オフィス」代表。2009年度貧困ジャーナリズム大賞受賞。著書に、『ルポ雇用劣化不況』、『賃金破壊』、『女性不況サバイバル』など。近刊に「ルポ官製無法労働」（地平社）

◆ 日 時 2026年12月6日(日) 13:30~15:30

◆ 会 場 久留米市男女平等推進センター210・211 研修室

久留米市諏訪野町 1830-6 えーるピア久留米内 TEL0942-30-7800

◆ 講 師 ^{たけのぶ}竹信 ^{みえこ}三恵子さん ジャーナリスト・和光大学名誉教授

◆ 定 員 70名

◆ 主 催 久留米男女平等推進ネットワーク(えがりて久留米)

◆ 手話通訳・一時保育あり 申し込みは11月27日(金)まで

◆ 申し込み・問い合わせ先 TEL 090-7457-7122 Fax 0942-47-0093 (今村)



申込用 QR コード